



2025 年 5 月 15 日

各 位

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社
代表者 取締役社長 細井 栄治
(コード番号 6330 東証プライム)
問合せ先責任者 経理部長 大和 武史
(TEL 043-272-5526)

業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2024 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想数値と本日公表の実績値につきまして、下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (2024年5月15日発表)	百万円 270,000	百万円 5,000	百万円 7,500	百万円 6,000	円 銭 102.39
実 績 値 (B)	278,091	2,591	6,459	2,020	34.49
増 減 額 (B - A)	8,091	△ 2,409	△ 1,041	△ 3,980	△ 67.90
増 減 率 (%)	3.0%	△48.2%	△13.9%	△66.3%	△66.3%
(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月 期)	260,825	6,712	6,995	9,821	167.59

(注) 2019 年 3 月に発行しました A 種優先株式を含めて 1 株当たり当期純利益を算出しております。

2. 差異の理由

ブラジルのガス火力発電案件及び国内の医薬関連プラント案件において、一部、顧客の要因を含む複合的な理由により遅延が発生し、大幅な追加費用が生じました。また、現在、顧客とのチェンジオーダー協議が続いており、見込んでいた追加収入の相当額を計上できず、新たに損失引当を行いました。

また、年度内完工予定であった国内のバイオマス発電 2 件は、工事終盤の試運転段階でトラブルが発生し、遅延が生じたため、追加費用の引当を行いました。

一方で、インドや中国などの複数の海外案件や持分法適用会社における採算向上がありました。が、上記案件の採算悪化を全て相殺することはできず、営業利益および経常利益は期初公表値を下回る結果となりました。

さらに、ブラジル子会社において保有する固定資産の減損処理に伴う特別損失の計上、および採算向上したインド、中国両子会社における税金費用の増加により、税金費用控除後の親会社株

主に帰属する当期純利益も期初公表値を下回る結果となりました。

3. 期末配当予想について

当社は、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を 25%以上とすることを当面の基本方針としております。このたび、業績予想の下方修正となりましたが、手元流動性の状況と今後の見通しを勘案の上、期末配当は前回予想を据え置き、1 株当たり配当金は 25 円とする予定です。

以 上